

情報公開文書

研究の名称	切除可能境界膵癌の長期予後に関わる臨床病理学的因子の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	消化器・腫瘍・総合外科 教授 藤井努
研究の概要	<p>【研究対象者】 2001年1月から2019年11月までに富山大学附属病院で膵癌と診断された症例。</p> <p>【研究の目的・意義】 本研究では切除可能境界膵癌における、より安全な標準治療の確立と普及に向けて、術前化学（放射線）療法、手術手技、術後補助化学療法ならびに患者の免疫栄養状態など臨床病理学的因子との相関を解析し、切除可能境界膵癌の長期予後につながる因子を後方視的に探索する。 この研究は研究責任者が所属する富山大学倫理委員会の承認を得た臨床研究として行われ、用いられる情報は富山大学に保管される。</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院で膵癌と診断された症例を対象に、医療記録を基にした匿名化データを用いた後ろ向き観察研究</p> <p>【研究期間】 富山大学倫理委員会承認日～2024年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および学術雑誌への掲載による公表 本研究の研究計画書などの詳しい情報を知りたい方は、相談窓口までお申し出ください。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>手術日 年齢 性別 身長 体重 PS 既往歴 術前採血データ（白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、リンパ球数、単球数、Alb、ChE、AST、ALT、総ビリルビン値、直接ビリルビン値、ICG、T-Chol、CRP、プレアルブミン、HbA1c、肝炎ウイルス） 腫瘍マーカー（CA19-9、CEA、エラスターゼ1、DUPAN-2、Span-1） 臨床診断名 診断日 原発巣の病理組織学的所見（膵癌取扱い規約 第7版） 術前臨床病期</p>

	<p>術後臨床病期</p> <p>術前化学療法の有無、レジメン、期間</p> <p>術後化学療法の有無、レジメン、期間</p> <p>胸腹部の画像診断</p> <p>術式</p> <p>手術時間</p> <p>出血量</p> <p>残膵所見(soft / hard pancreas、主膵管径)</p> <p>術後採血データ(白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、リンパ球数、単球数、Alb、ChE、AST、ALT、総ビリルビン値、直接ビリルビン値、T-Chol、CRP、プレアルブミン、HbA1c)</p> <p>術後 CT 画像所見</p> <p>術後膵液瘻の有無と Grade</p> <p>術後ドレーン生化学 (AMY、TG)</p> <p>膵液 AMY</p> <p>術後膵液瘻の発症日</p> <p>術後膵液瘻に対する治療法</p> <p>術後膵液瘻の治癒した日</p> <p>その他の出血、腹腔内膿瘍、肝不全などの有無、発症日、治療法、治癒した日</p> <p>最終確認日</p> <p>予後</p> <p>再発の有無、再発形式、再発確認日</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科(第二外科)</p> <p>教授 藤井 努</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p> <p>【試料・情報の将来の研究における利用】</p> <p>本研究で得られた患者様の情報等は、現時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性がある。二次利用する情報等は将来新たに計画・実施される研究が倫理審査委員会で承認された後に利用します。その場合には、研究対象者に通知・公開し、研究が実施されることについて、研究対象者が拒否できる機会を保障した上で実施します。</p>
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	<p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科(第二外科)</p> <p>教授 藤井 努</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7331</p> <p>FAX 076-434-5043</p> <p>担当者所属・氏名</p> <p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科(第二外科)</p>

	助教 渋谷和人
--	---------